

来週の「売り物」記事はこれ



2012年11月9日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

大型ルポシリーズ「S（ストーリー）」

命をつなぐ 瀬戸際のヒポクラテス

朝刊 11日（日）



DMA Tをご存じでしょうか。阪神大震災での経験を踏まえて、厚生労働省の主導で編成された救急救命医療チームのことです。東日本大震災でも医療崩壊の現場にあって救命活動に当たりました。派遣チームの編成など、実務的な作業に当たったのが神奈川県藤沢市の市民病院救急救命センター長の阿南英明医師（47）でした。強い指導力から「救急医療のエース」と目されています。救急医療と言えば、治療の優先順位を付けたり、数々の難しい決断を強いられます。それゆえにでしょうか。「生と死は多様だ」と話します。DMA T医師として修羅場をかいくぐってきた阿南医師の視点を介して、「いのち」のいまを考えます。



日曜朝は『S』で始まる——。ご期待ください。

シリーズインタビュー「時代を駆ける」

山形大教授・前国立がんセンター理事長 嘉山孝正さん

13日～23日 計9回



疲弊する現場、診療報酬体系など医療の立て直しに奮闘する山形大教授で脳神経外科医の嘉山孝正さん（62）＝写真＝が登場します。今春まで国立がん研究センターの初代理事長を務め、その改革手腕が高い評価を得ました。抜群の行動力と先見性を武器に、古巣の山形大に復帰後も旺盛に発信し続けています。

古事記編さん1300年

哲学者 梅原猛氏が語る現代へのメッセージ

夕刊特集ワイド面 11月12日(月)

古事記は712年、太安万侶と稗田阿礼が完成させた。縄文時代から飛鳥時代までの創世神話と天皇史をつづった日本最古の書。それから1300年。今年、新橋演舞場ではヤマトタケルを題材したスーパー歌舞伎が上演され、話題になった。その歌舞伎の脚本を書き、「葬られた王朝」(2010年)など古事記にまつわる説を発表し続ける哲学者、梅原猛さん(85)は、「ギリシャ神話なら皆殺しや戦争が起きるが、古事記では平和的にあっさり国を譲るところがすごい」と話すとともに、神話を失った現代日本人を嘆く。



最新自助具事情

くらしナビ生活面 13日(火)



けがや病気で片手が不自由になったり、高齢で手に力が入りにくくなったりした人のための道具＝自助具が進化しています。ニーズに合わせてさまざまな製品がメーカーから販売されているほか、ボランティア団体や患者団体が独自に開発し、売り出すケースも増えています。少しの知恵で暮らしをぐっと楽にしてくれる最新自助具事情を紹介します。

ご当地食ウオーク・チキン南蛮カレー

くらしナビ食べる面 13日(火)

全国有数の鶏肉産地・宮崎県で、名物チキン南蛮とカレーを組み合わせた「」が人気を集めている、という情報を入手しました。「別々に食べたほうがおいしそうな気がするが、とにかく食べてみよう」と、記者が南国宮崎に飛びました。さて、スパイスと酸味の組み合わせはどうだったでしょうか？



愛するペットの記念品

くらしナビ動物面 13日(火)



ペットは家族の一員。愛する動物の足形をとってガラス製品にしてくれたり、ペットの姿かたちや思い出をジュエリーにしてくれるサービスが人気です。愛犬の写真を元にぬいぐるみを作ってくれる会社もあります。思い出をどう形にできるのか、取材しました。

— 第18期中央委員会第1回全体会議、15日開催 —

中国共産党大会が14日に閉幕し、その翌日に第18期中央委員会第1回全体会議(1中全会)が開かれます。その際、党最高指導部の人事が決められます。習近平国家副主席が胡錦濤氏(国家主席)の後を継いで、党トップの総書記に選ばれることが確実視されています。また、最高指導部に当たる政治局常務委員の顔ぶれが明らかになり、中国の次代の指導体制が固まります。

